

(別紙)各公募技術テーマのイメージ

※ここに掲げたイメージはあくまで例示であり、これらの技術に限定するものではありません。

テーマ [I]

道路側での物理的・視覚的対策、道路側での逆走車両への注意喚起に関する技術

1) 逆走を未然に防ぐことを目的とした技術

- ①過去に逆走が発生した箇所であることの警告(警告標識など)
- ②逆走に至りにくい構造(ラバーポールなど)
- ③行動選択地点での間違えにくい案内(分岐部等での行先案内強化、路面標示など)
- ④故意に逆走を開始する地点でのわかりやすい注意喚起
(本線やランプ合流部での大型矢印路面標示、高輝度矢印板など)
- ⑤高速道路の認識がない者の進入抑制(料金所入口一般レーンでのゲートバー設置など)



② 逆走に至りにくい構造

・ラバーポール

④ 故意に逆走を開始する地点でのわかりやすい注意喚起

・大型矢印路面標示
・高輝度矢印板

2) 逆走中の車両に対し逆走に気付かせることを目的とした技術

- ①誤進入地点でのわかりやすい案内
(大型矢印路面標示、高輝度矢印板、大型進入禁止看板、右折案内看板、カラー舗装)
- ②誤進入地点での注意喚起(センサー+音、光)
- ③逆走中であることを認識させる警告(高速道路上での路面標示・看板など)



② 誤進入地点での注意喚起

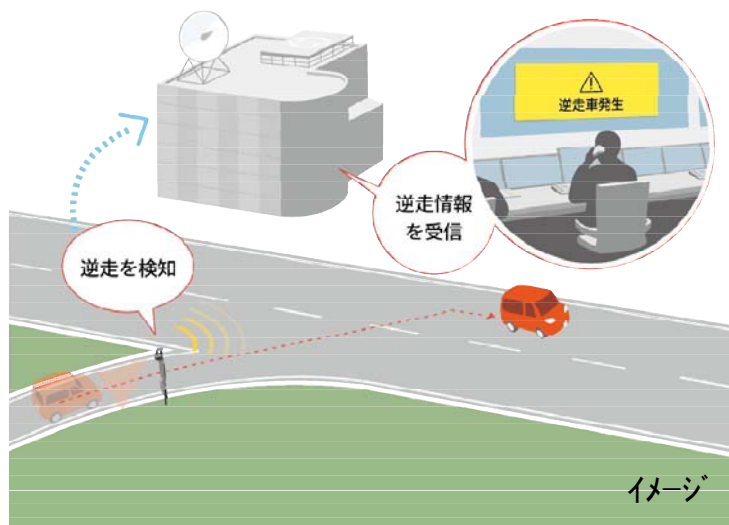
・センサー+LED表示板・音・光

テーマ [Ⅱ]

道路側で逆走を発見し、その情報を収集する技術

1) 逆走を発見し、その情報を収集することを目的とした技術

- ① トラフィックカウンター、路側カメラ、3Dレーザーセンサー等路側センサー・路側機器を活用した逆走検知。また、検知後の道路管制センターとの連動に関する技術



路側センサー

- ・トラフィックカウンター
- ・路側カメラ
- ・3Dレーザーセンサー
- など

テーマ [Ⅲ]

自動車側での逆走車両ドライバーへの注意喚起に関する技術

自動車側で逆走を発見し、その情報を収集する技術

1) 逆走中の車両に対し逆走に気付かせることを目的とした技術

- ① 逆走中であることを認識させるカーナビやETC、付加デバイスを活用した車内警告
- ② ヒューマンマシンインターフェイス技術を活用した逆走ドライバーへの警告



- ①カーナビによる逆走の判断と車内警告
カーナビのGPSによる逆走の判断とドライバーへの警告

2) 逆走を発見し、その情報を収集することを目的とした技術

- ① カーナビのGPS機能による逆走の判断
- ② 車載カメラによる標識認証技術等車側センサーによる逆走検知

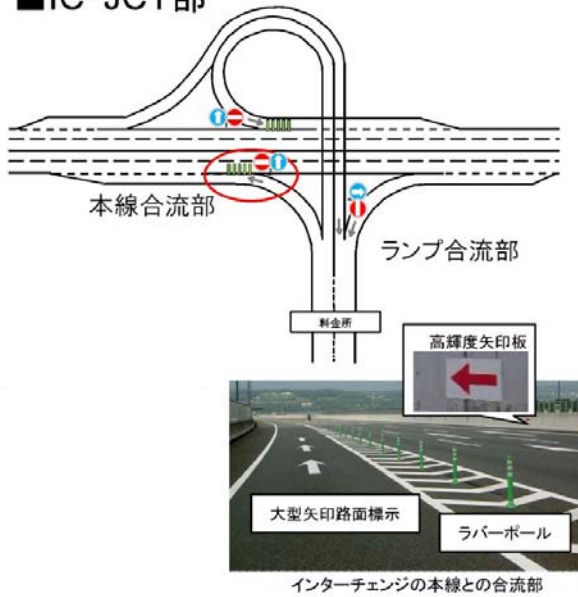


- ②車載カメラでの標識認証技術
車載カメラでの標識認証技術等による逆走検知とドライバーへの警告

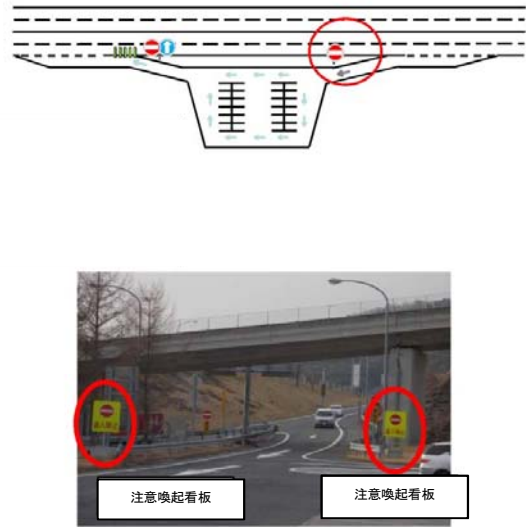
(参考)

全国的に実施中の逆走対策

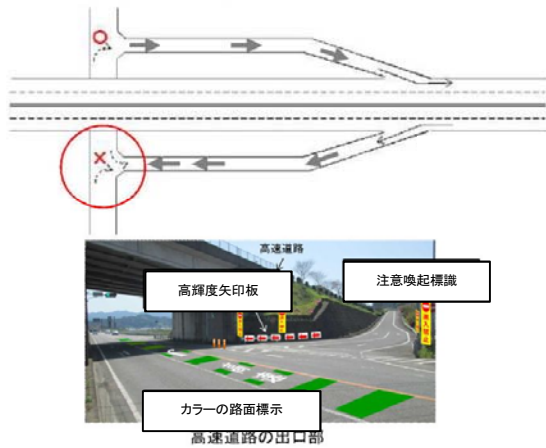
■IC・JCT部



■休憩施設



■高速道路出入口



■平面Y交差部

